ユーザーズマニュアル
ver. 1.2 J



COWON D2



BBE Mach3Bass MP3 DIGITAL AUDIO Ogg vorbis Windows Media Mac OS LDB Lyric Data Base JetAudio

COPYRIGHT NOTICE

COWON製品をご購入いただきありがとうございます。

いつもお客様にDigital Prideをご提供できるよう最善を尽くします。

本マニュアルには製品の使用方法および注意事項が含まれています。
マニュアルの内容を熟知のうえ製品をご使用になりますと、デジタルライフをより楽しむことができます。

ホームページの紹介

- 製品関連のホームページは http://www.COWONJAPAN.com です。
- ホームページでは様々なコウォン製品の最新情報と最新技術が適用されたファームウェアおよび有用なソフトウェアなどをダウンロードすることができます。
- 初めてご使用になるお客さまのために、別途FAQおよびQ＆Aを提供しています。(ホームページ内のQ&Aのご利用には無料の会員登録が必要です)
- ホームページにて会員登録された後、パッケージに同封されたCD-Keyと製品裏面にあるシリアル番号を使用し、製品登録をされますと正会員に昇級します。
- CD-Key及びシリアル番号は理由の如何に拘わらず再発行されませんので、製品購入後直ちに登録されることをお奨めします。

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本マニュアルは(株)コウォンシステムがすべての著作権を所有しており、本マニュアルの一部分または全部を無断配布することは一切禁止されています。
- (株)コウォンシステムはレコード/ビデオ/ゲーム関連法令を遵守しています。 これ以外の一切の成文化された関係法令を遵守することは実際のユーザーの責任です。
- 製品を購入しましたらすぐhttp://www.cowonjapan.comを訪問し、製品登録を行うことをお勧めします。
- 本マニュアルに記載された各種の操作説明および図表、写真は予告なしに変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は、性能向上のために予告なしに変更されることがあります。

BBE関連

- BBE Sound、Inc.のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、 5510752 および 5736897 により BBE Sound、 Inc. がライセンス権を保有しています。
- BBE および BBE ロゴは BBE Sound、Inc. の登録商標です。

DIGITAL PRIDE.
COWON

COWON D2

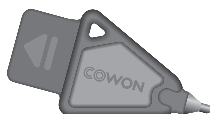
製品使用時の注意事項

- ユーザーズマニュアルに記載されている内容以外の他の目的で製品を使用しないで下さい。
- 製品包装箱、ユーザーズマニュアル、付属品を扱われる際に怪我をしないようにご注意下さい。
- 運転(自転車、自動車、オートバイなど)中や運動、歩行中にはイヤホンを使用しないで下さい。思わぬ事故の原因となる恐れがあります。また、地域によっては法律で禁止されているところもあります。
- 機器を水の中に落としたり、湿気の多いところに長時間保管しないで下さい。水没による障害の場合、無償のアフターサービスを受けることができませんし、機器自体の使用が全く不可能になる場合もあります。
- 機器を任意に分解または改造した時は、無償サービスを受けることはできません。
- USBケーブルの使用時、挿入方向に注意して下さい。USBケーブルを逆に挿入した場合、パソコンや機器の破損の恐れがあります。またUSBケーブルを無理に曲げたり重い物を載せた状態で利用することは避けて下さい。
- 機器に強い衝撃を与えないで下さい。ご利用中に機器が焦げる臭いがしたり、高熱が発生した場合は、リセットを押して製品の動作を中止した後、当社のホームページ(www.cowonjapan.com)のQ&Aへご連絡いただくか、サポートセンターにお問い合わせ下さい。
- 濡れた手で機器を扱った場合、誤動作することがあります。
- ボリュームを上げた状態で長時間聴取した場合、聴力に問題が発生する恐れがありますので、特にご注意下さい。85dB以上の大きな音に長時間さらされると、深刻な聴力の低下をもたらす恐れがあります。
- 暗い所で長時間画面を見ると、目の疲労度が増加する恐れがありますので、視力保護のためにできるだけ明るい所でご使用下さい。
- 製品を利用する際、静電気の発生が激しいところは避けて下さい。誤動作を起こすことがあります。
- 製品の修理サービスを依頼する場合、必ず事前に機器に保存されたすべてのデータをバックアップして下さい。修理中に機器に保存されたすべてのデータが削除されることがあります。アフターサービスの際、機器の中に保存されたデータを消失したことに関しては責任を負いません。
- ACアダプタとUSBケーブルは必ずコウォンで提供する純正部品のみをご利用下さい。
- 雷や稲妻が走る天気には、落雷および火災の危険がありますので、必ずパソコンおよびACアダプタのコンセントを抜いて下さい。
- 製品を保管する際は、高温の場所や寒いところはできる限り避けて下さい。外観の変形や製品内部の損傷、液晶表示の誤動作を起こすことがあります。
- 本商品を携帯用データ保存媒体としてご使用になる場合、万一に備えて重要なデータは必ずバックアップされることをお奨めいたします。データが消失した場合、弊社はこれに対する責任を負いません。
- 本製品は状況により予期されない大幅な価格の変動が起こることがありますが、この場合に価格補償は行われません。

1. パッケージの構成品



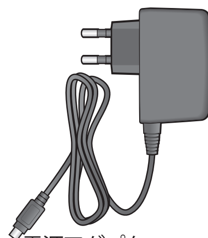
COWON D2 本体



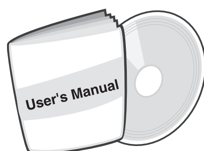
簡単スタイラスペン



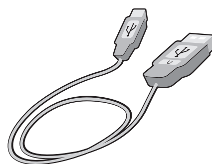
イヤホン



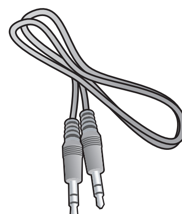
電源アダプタ



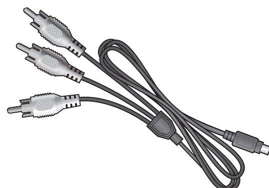
ユーザーズマニュアル,
インストールCD(JetShell、JetAudio、
オンラインユーザーズマニュアル)



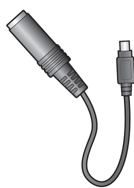
USBケーブル



Line-in録音ケーブル(別売)



TV出力ケーブル(別売)



Line-in Cable Converter (別売)



SD Card(別売)

2.各部の名称

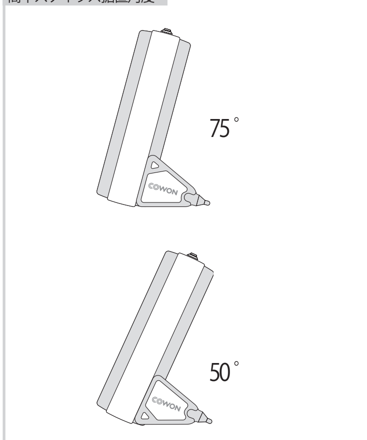
Power/HOLD
MENU
VOL-
VOL+
MIC

アンテナ
イヤホンジャック
USB接続端子
Reset
EXT端子

LCDディスプレイ
簡単スタイラスフック

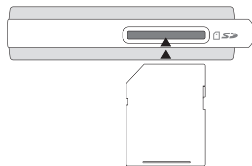
SD/MMC Slot

簡単スタイラス据置角度

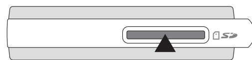


SD/MMC Slot

挿入方法：SD/MMCカードのラベル面を下にしてロックが掛かるまで押し込みます。

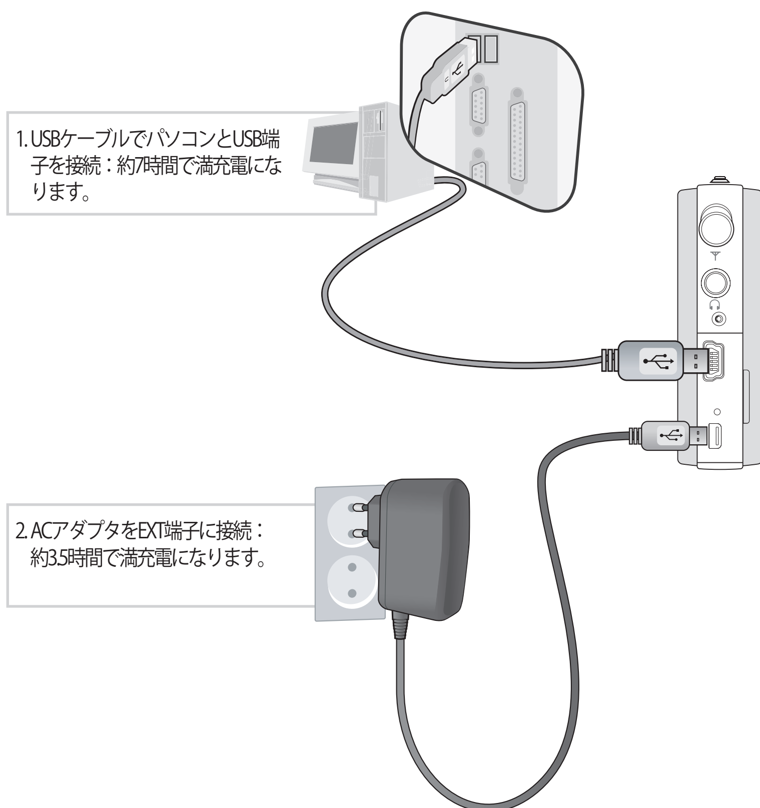


取り出し方法：挿入されたSD/MMCカードを軽く押すと、ロックが解除されます。



3.充電

COWON D2を充電するためにはUSBケーブルでパソコンに接続するかACアダプタを接続します。

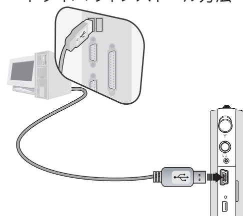


- 充電状態はLCDで確認することができます。
- ACアダプタとUSBを同時に接続すると、機器が誤動作する可能性があります。
- 初めてのご使用の際や長期間使用しなかった後に使用する場合は、必ず十分に充電をした後ご使用下さい。
- 放電の状態によっては通常より長時間充電した後電源が入ることがあります。使用上の安全のため、必ず純正品ACアダプタのみご利用下さい。
- 純正品ACアダプタはAC100V専用です。
- ACアダプタでの充電中にも M ボタンを押して使用することができます。
- USBハブに接続する場合、USB電源を利用した充電はサポートされません。必ずパソコン本体背面のUSBポートに直接接続するようお願いします。

4.Windows 98SE ドライバのインストール

Windows 98SEを使用する場合、初めてパソコンと接続した際に別途、ドライバのインストールが必要です。
*Windows ME、2000、XPでは自動的に製品を認識します。

■ ドライバのインストール方法

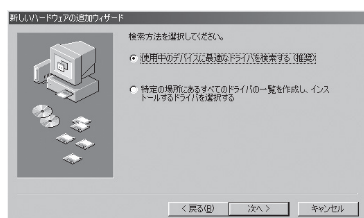


1. USBケーブルで製品とパソコンを接続します。



2. 次のような「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

▼



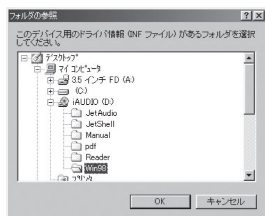
3. ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)］をクリックした後、［次へ］をクリックします。

▼



4. ［検索場所の指定(L)］をクリックして［参照］ボタンをクリックします。

▼



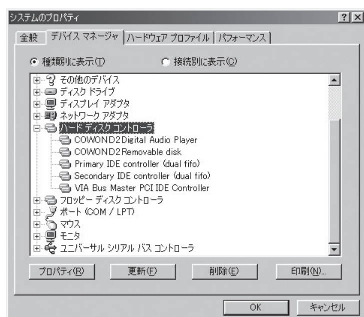
5. CD-ROMドライブ内の［Win98］フォルダを選択した後［OK］ボタンをクリックします。(該当ファイルは当社ホームページ(該当ファイルは当社ホームページ(www.cowonjapan.com)のダウンロードのページからもダウンロードできます。)



6. 検索する場所を指定したら［次へ］をクリックします。



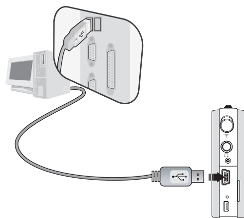
7. 続けて［次へ］をクリックします。



8. ［完了］ボタンをクリックするとドライバのインストールが完了します。デバイスマネージャまたはエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認することができます。

5.パソコンとの接続およびファイルの保存

Windows 98SEを使用する場合、初めてパソコンと接続した際に別途、ドライバのインストールが必要です。
*Windows ME、2000、XPでは自動的に製品を認識します。



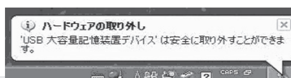
1. 付属のUSBケーブルでUSB端子とパソコンを接続します。



2. 正しく接続された場合はLCDに次のような画像が表示されます。

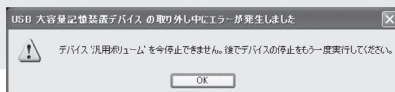


3. Windowsエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。
4. WindowsエクスプローラまたはJetShell Proを実行します。
5. パソコンにある音楽ファイルや画像ファイル、エンコードされた動画ファイル、その他COWON D2で使用するファイルを［COWON］ドライブまたはSD/MMCカードに転送(コピー)します。
6. ファイルの保存が終わったらタスクトレイに表示されたアイコンをマウスの左ボタンでクリックします。
7. 次のようなメッセージが表示されたらクリックします。



8. 「ハードウェアの取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルをとりはずします。

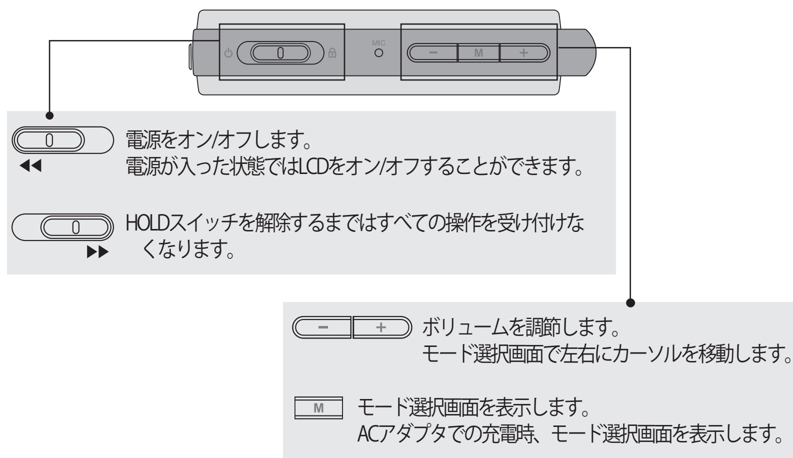
-本製品が最大で認識できるフォルダ数は3,000個、ファイル数は3,000個です。
-マイコンピュータまたはWindowsエクスプローラでCOWON（またはリムーバブルディスク）というドライブが表示されない場合、パソコンとの接続および設定を確認された後、再度接続して頂くようお願いします。(*Windows 98SEの場合、ドライバのインストールが必要です。
-USB接続状態で「ハードウェアの取り外し」を行うと充電モードのみ動作します。ファイルを転送する場合、COWONを取り外した後に再度接続して下さい。
-USBハブを利用する場合、USB電源を利用した充電はサポートされません。必ずパソコン本体背面のUSBポートに直接接続するようお願いします。
-Windows 98、98 SEではハードウェアの取り外しアイコンが表示されないことがあり、この場合JetShellを終了した後(または転送画面が閉じたことを確認した後)USBケーブルを外して下さい。
次のようなメッセージが表示された場合、製品の異常ではありませんので、時間を置いて再度「ハードウェアの取り外し」を行ってください。



6.ファームウェア(Firmware)について

ファームウェアはハードウェアに内蔵されているプログラムです。
アップグレードすることにより製品の機能を向上させたり、不具合を修正することができます。
アップグレードすることにより、性能およびメニューが予告なしに変更されることがあります。また、一部のベータ版ファームウェアには正式版ファームウェアで修正される予定のわずかな誤動作が存在する可能性があります。
現在のファームウェアバージョンは［設定］(Settings)-［情報］(Information)で確認できます。
ファームウェアのアップグレード時、保存されたデータが削除されることがありますので、必ずパソコンにバックアップを行って下さい。
ファームウェアアップグレードの方法はバージョンにより異なることがあります。詳しい内容は当社ホームページ(www.cowonjapan.com)を参考にして下さい。

1.ボタンの説明



電源をオン/オフします。
電源が入った状態ではLCDをオン/オフすることができます。

HOLDスイッチを解除するまではすべての操作を受け付けなくなります。

ボリュームを調節します。
モード選択画面で左右にカーソルを移動します。

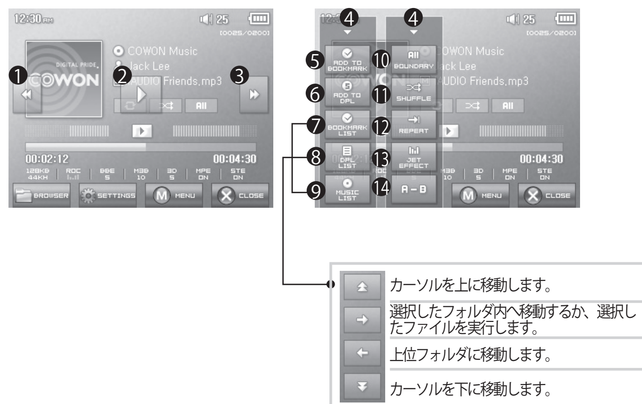
モード選択画面を表示します。
ACアダプタでの充電時、モード選択画面を表示します。

2.操作説明



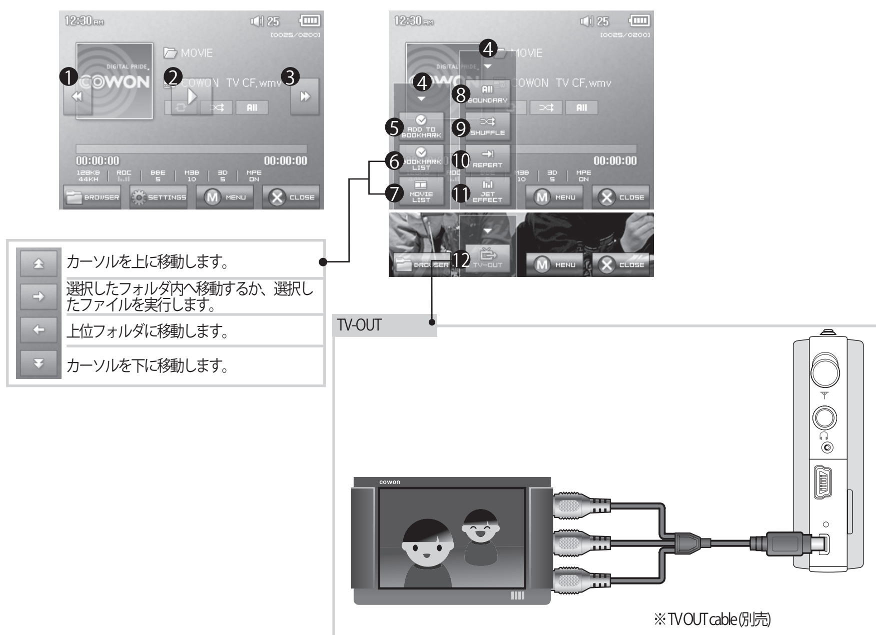
D2は前面のタッチスクリーンを使用して簡単に操作できます。
モード選択画面で希望するモードをタッチしてそのモードに移動します。
該当モードでLCDを軽くタッチすると、操作画面が表示されます。
CLOSE をタッチするかまたは一定時間が経過すると、操作画面が消えます。
M ボタンを押すかまたは下部の MENU をタッチすると、モード選択画面に移動します。

3.音楽モード



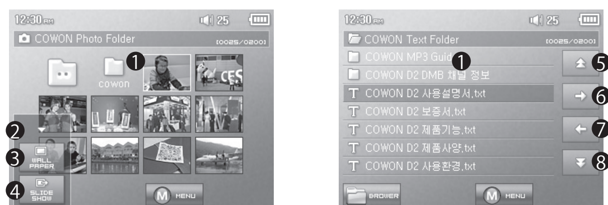
❶ 前の曲を選択するか、巻き戻しを行います。
❷ 音楽ファイルを再生するか一時停止します。
ID3タグ情報に画像が含まれているファイルは画像を表示します。
❸ 次の曲を選択するか、早送りを行います。
❹ 設定画面を閉じます。
❺ 再生中の曲にBookmarkを設定します。
再生中の曲のお好みの位置にBookmarkを設定すると、いつでもその位置から再生することができます。
Bookmarkには最大256個のファイルを登録できます。
❻ 再生中のファイルをDPL（ダイナミックプレイリスト）に追加します。
DPLには最大256個のファイルを登録できます。
❼ Bookmarkリストを表示します。
Bookmarkを設定した曲のリストを確認および再生することができます。
❽ DPLを表示します。
DPLに追加された曲を確認および再生することができます。
❾ ファイル表示モードを開きます。
❿ 再生領域を設定します。
All:フォルダに関係なくすべての曲を再生します。
1:1曲のみ再生します。
Folder:現在選択されたフォルダ内のファイルのみ再生します。（サブフォルダを含む）
⓫ シャッフル設定を行います。再生順序がランダムに選択されます。
⓬ リピート再生を設定します。
⓭ JetEffectを設定します。
⓮ 区間リピートを設定します。設定した区間を繰り返して再生します。（少なくとも1秒以上の範囲を設定してください）

4.ビデオモード



❶ 前のファイルを選択するか、巻き戻しを行います。
❷ 動画ファイルを再生するか一時停止します。
COWON MediaCenter-JetAudioで変換していない動画ファイルは、正常な再生を保証しません。
❸ 次のファイルを選択するか、早送りを行います。
❹ 設定画面を閉じます。
❺ 再生中の動画ファイルにBookmarkを設定します。
再生中の動画ファイルのお好みの位置にBookmarkを設定すると、いつでもその位置から再生することができます。Bookmarkには最大256個のファイルを登録できます。
❻ Bookmarkリストを表示します。
Bookmarkを設定したファイルのリストを確認および再生することができます。
❼ ファイル検索モードを表示します。
❽ 再生領域を設定します。
All:フォルダに関係なくすべての動画ファイルを再生します。
1:一つのファイルのみ再生します。
Folder:現在選択されたフォルダ内のファイルのみ再生します。（サブフォルダを含む）
❾ シャッフル設定を行います。再生順序がランダムに選択されます。
❿ リピート再生を設定します。
⓫ JetEffectを設定します。
⓬ TV OUTを利用します。（*ファイルの再生中にのみ選択できます。）
TV OUT中にはボリュームが一定に固定され、イヤホンを使うことができません。
− M + 上部のボタンを押すとTV OUTが解除されます。

5.写真およびテキストモード



❶ 画像およびテキストファイルをタッチして表示します。
画像は［PICTURE］フォルダ、テキストは［TEXT］フォルダに存在しなければなりません。
表示可能な画像およびテキストの種類については【製品仕様】をご参照下さい。
❷ 設定画面を閉じます。
❸ 選択された画像ファイルを壁紙に指定します。
❹ 該当フォルダ内の画像ファイルを連続で表示します。
❺ カーソルを上に移動します。
❻ 選択したフォルダ内へ移動するか、選択したファイルを実行します。
❼ 上位フォルダに移動します。
❽ カーソルを下に移動します。

6.ワンセグモード



❶ チャンネルを変更します。
❷ 設定画面を閉じます。
❸ 受信可能なチャンネルをスキャンします。
❹ 選択可能なチャンネルリストを見ます。
❺ 字幕の設定を行います。
❻ TV OUTを利用します。TV OUT中にはボリュームが一定に固定されるし、イヤホンが使えなくなります。
（-M+）を押すとTV OUTが中止されます。
❼ 現在、視聴中の放送を録画します。
❽ JetEffectを設定します。

一部TVから出て来る電子波によりD2のワンセグ受信感度が落ちる場合があります。

ご注意

- ワンセグのサービスエリア以外では、ワンセグを楽しむ事は出来ません。
- また、放送エリア内であっても、地形や構造物などの周囲環境、本体を置く場所や向き、
電波の受信状況などによっては受信できません。
- 録画したファイルは再生中の早送りと巻き戻しができません。

7.FMラジオモード





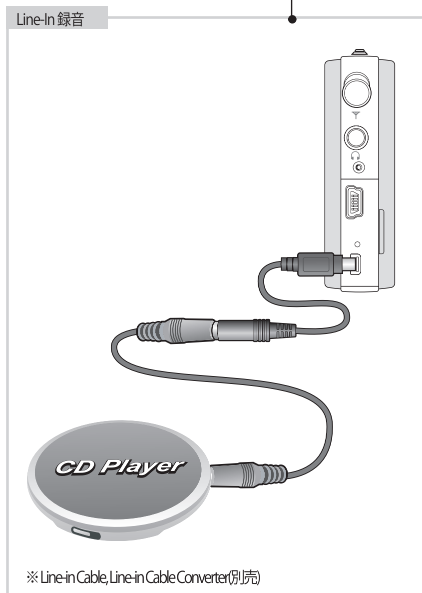
❶ ステレオ/モノ受信設定を確認できます。
❷ 聴取する地域を表示します。（設定モードで変更できます）
❸ 短く押すと0.1MHzずつ移動し、長く押すと受信状態が良好なチャンネルを自動検索します。
プリセットモードの場合、前のチャンネルまたは次のチャンネルに移動します。
❹ 設定画面を閉じます。
❺ プリセットモードに移行します。プリセットに登録されているチャンネルのみ受信が可能です。
❻ 受信可能なFM周波数を自動で検索しプリセットに登録します。
❼ ステレオおよびモノを選択できます。
❽ プリセット検索モードを表示します。現在受信中の周波数を登録するか、登録された周波数を削除することができます。
❾ 録音ファイルの品質を設定します。bpsが大きいほど録音品質はよくなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。
❿ 現在聞いている放送を録音します。

-D2は別途のアンテナなしにイヤホンがFMラジオのアンテナの役割をしますので、イヤホンケーブルを出来るだけまっすぐに長く伸ばすほど受信感度は良くなります。
-ラジオの録音の時も必ずイヤホンを接続した状態で録音を行って下さい。

8.録音モード







※Line-in Cable, Line-in Cable Converter(別売)



※Line-in Cable Converter(別売)

❶ 録音されたファイルを再生します。
❷ 録音を行います。
❸ 設定画面を閉じます。
❹ 音声録音を行います。
❺ ラインイン録音を行います。
❻ 録音ファイルの品質を設定します。bpsが大きいほど録音品質はよくなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。
❼ 録音ボリュームを設定します。
❽ 外部マイクを使用するかどうか設定します。外部マイクはステレオピンマイクを使用しなければなりません。（*音声録音モードでのみ選択できます。）
❾ ラインイン端子に入力される音を感知して、新しくファイルを作成する機能です。
設定した時間以上に無音が続いた場合、新しいファイルを作成して録音を行います。
（*ラインイン録音モードでのみ選択できます。）

9.設定モード

1.JetEffect

1.Equalizer
·すでに設定されている値を呼び出したり、ユーザー自ら5バンドEQを設定することができます。
·ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップス、ボーカル、ユーザーEQの中から選択することができ、各EQはユーザーの好みにより編集が可能です。

2.BBE
· BBEとは音楽を鮮明にする音場効果です。

3.Mach3Bass
· Mach3Bassは超低域を強調するベース増幅機能です。

4.3D Surround
· 3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

5. Stereo Enhance
· Stereo Enhanceはステレオ効果を高める機能です。

6.MP Enhance
· MP Enhanceは失われた高音域を補償する音場効果です。

7.パン（Pan）
· Panは左右音量の均衡を調節する機能です。

8.再生速度(Play Speed)
· 音楽ファイルの再生速度を調節します。

-過度なJetEffect設定は音の歪曲やノイズ発生の原因になります。
-JetEffectに関して詳しく知りたい場合、ホームページ(www.cowonjapan.com)のBBE MPの解説をご覧ください。

2.再生モード(Play Mode)

1.范再生領域(Boundary)
·ファイルやフォルダなどに対して再生範囲を設定する機能として、さまざまな範囲を設定できます。
·すべてのファイル(All):フォルダに関係なく全てのファイルを再生します。
·１曲だけ(Single):1曲だけ再生します。
·フォルダ(Folder):現在選択されているフォルダ内のファイルのみ再生します。（サブフォルダを含む）

2.リピート(Repeat)
·再生領域で指定された範囲の中でリピート再生するかどうかを設定できます。
·設定した場合はリピート再生となり、再生領域が「全てのファイル」ならばすべての曲が再生された時点で先頭に戻り再生が継続されます。

3.シャッフル(Shuffle)
·再生領域で指定された範囲の中でシャッフル再生するかどうかを設定できます。

3.画面(Display)

1.言語(Language)
・COWON D2で使用する言語を設定することができます。

2.タイトル(Title)
・LCDに表示されるファイルの名前をどのように表示するか設定できます。
・［ファイル名］は保存されたファイルの名前がそのまま表示され、［ID3Tag］はファイル内のタグ情報が表示されます。（タグ情報が含まれないファイルでは、ファイル名が表示されます）

3.再生時間(Play Time)
・再生するトラックの時間表示を設定できます。
・［再生した時間］は経過した時間を、［残りの時間］は残りの再生時間を表示します。

4.スクロール速度(Scrollspeed)
・LCDに表示される文字のスクロール速度を設定できます。
・数字が大きいほどスクロール速度が速くなります。

5.壁紙(Wallpaper)
・壁紙の表示を設定することができます。
・[デフォルト設定]は標準の壁紙が表示され、[ユーザ定義設定]は写真モードで壁紙に設定したファイルが表示されます。

6.歌詞(Lyrics)
・タグ情報に歌詞データが入力されている音楽ファイルの歌詞表示を設定できます。
・設定した場合、再生中の音楽ファイルの歌詞がLCDに表示されます。
・設定した場合でも再生中のファイルに歌詞データが入っていなければ表示されません。

7.画面自動オフ(LCD Auto off)
・LCDの点灯時間を設定できます。
・設定された時間内に、何も操作しないとLCDが消灯します。

8.明度(Brightness)
・LCDの明度を設定できます。

9. Set Font Color(文字色設定)
・文字色を設定することができます。

10. TV-Out Methods(TV信号方式)
・TV信号方式を選択できます。(日本国内ではNTSCです)

11. 7.5 IRE
・テレビ出力の明度基準を設定できます。
・7.5 IREはアメリカ規定のアナログ明度基準で、アメリカや韓国など一部の国で使われています。（日本国内では0 IREを使用）
・アメリカと韓国で製造されたテレビの場合は、設定した後にご使用下さい。

4.タイマ(Timer)

1.時間設定(Time Setup)
・現在の時刻を設定する機能です。
・アラームおよびタイマー予約録音のために正確な時間を設定して下さい。

2.アラームモード(Wakeup Mode)
・次の［モーニングコール時刻］で設定された時間に自動的に電源が入る機能です。
・［音楽アラーム］は音楽を再生し、［FMアラーム］の場合は最後に聞いた周波数でFMラジオモードが実行されます。
・［FM録音］の場合、設定された時間から定められた時間まで、最後に聞いていた周波数のFMラジオを録音します。
・［FM録音］の場合、通常よりも多くの電力を消費します。十分なバッテリー残量があるか事前に確認して下さい。

3.モーニングコール時刻(Wakeup Time)
・自動的に電源が入る時間を設定します。
・[Cycle]の項目は［Once］では一度だけ、［Daily］では毎日、アラームが実行されます。
・[Duration]の項目はアラームが持続する時間を意味します。設定した時間を経過すると自動的に電源が切れます。

4.スリープ(Sleep)
・設定した時間を経過すると自動的に電源を切る機能です。
・設定した時間を経過するとファイル再生中でも自動的に電源が切れます。一度電源を切ると、[Off]に戻ります。

5.自動電源オフ(Auto Off)
・COWON D2が停止している状態で、設定した時間が経過するまで何も操作しなかった場合に自動的に電源を切る機能です。
・再生中、録音中の場合は作動しません。

5.一般(General)

1.スキップ間隔(Skip Length)
・再生中に ◁ ▷ 方向に短く押した時、一度にスキップする時間の長さを設定する機能です。

2.検索速度(Scan Speed)
・再生中に ◁ ▷ 方向に長く押した時の早送り/巻き戻しの速度を設定する機能です。
・数値が大きいほど速い検索が可能です。

3.再スタート(Resume)
・電源を切る直前に再生していた音楽ファイルの位置を記憶する機能です。

4.フェードイン(Fade in)
・停止あるいは一時停止後の再生時に音量を徐々に大きくする機能です。
・音量を変化させる時間を設定できます。

5. デフォルト設定に戻る
・言語(Language)以外の設定情報をデフォルト値に戻します。

6. ユーザー定義ボタン
・ M ボタンを長く押した場合の動作を設定できます。

6.録音(Recording)

1.ラインインbps(LineIn bps)
・ダイレクトエンコーディング（ラインイン端子）で録音するファイルの音質を設定します。
・bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

2.音声録音　bps(Voice bps)
・内蔵マイクで録音するファイルの音質を設定します。
・内蔵マイクで録音されるファイルはMono(モノラル)で、外部マイク利用の場合はステレオで録音されます。
・bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

3.FM bps
・FMラジオを受信中に［REC］ボタンをタッチして録音するファイルの音質を設定します。
・また、FMラジオのタイマー予約録音で録音されるファイルの音質もこの設定値になります。
・bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

4.マイクボリューム(Mic volume)
・マイクのボリュームレベルを調節します。

5.ラインボリューム(Line volume)
・ラインイン端子のボリューム レベルを調節します。

6.自動シンク(Auto Sync)
・ラインイン端子に入力される音を感知して、新しくファイルを作成する機能です。
・設定した時間以上に無音が続いた場合、新しいファイルを作成して録音を継続します。曲中に音量の小さい部分がある場合、無音部分と誤認識され複数のファイルが作成される事があります。

7.外部マイク
・外部マイクを使用するかどうか選択できます。
・外部マイクは電源が要らない製品で、別売のラインインケーブルコンバータを使って録音することができます。

7.FMラジオ(FM Radio)

1.ステレオ(Stereo)
・FMラジオを聞く時の音声出力を[ステレオ]又は[モノ]が選択できます。
・但し、モノラル放送の場合は[ステレオ]を選択してもモノラル音声出力になります。

2.自動検索(Auto Scan)
・受信可能なFM周波数を自動的に検索してプリセットリストに登録する機能です。

3.地域(Region)
・FMラジオの受信地域を選択します。

8.情報

・バージョン:現在のファームウェアバージョンです。
・総容量:内蔵フラッシュメモリの全体容量です。
・空き容量:内蔵フラッシュメモリの残りの容量です。

1.製品仕様

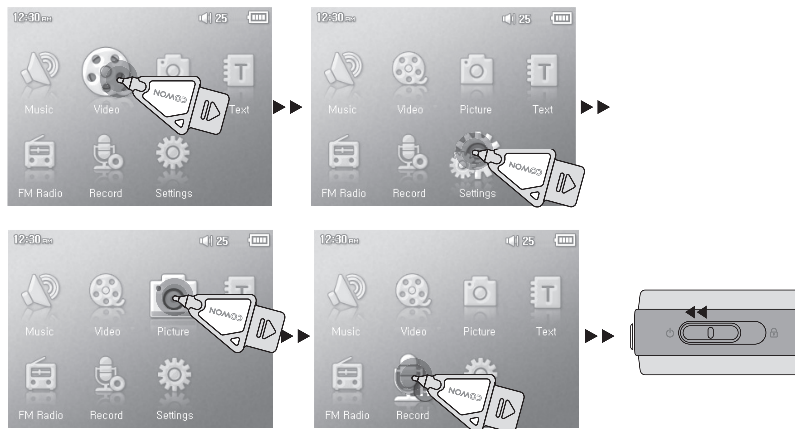
COWON D2-製品仕様		
ファイルサポート	音楽	MP3 : MPEG 1/2/2.5 Layer 3、～320kbps、～48kHz、mono/stereo WMA : ～256kbps、～48kHz、mono/stereo OGG : ～Q10、～44.1kHz、mono/stereo FLAC : Compression Level 0 ～8、～44.1kHz、mono/stereo WAV : ～48kHz、16bit、mono/stereo
		JetEffect(Equalizer、BBE、Mach3Bass、3D Surround、Stereo Enhance、MP Enhance、ペン、再生速度)サポート
	ビデオ	AVI : MPEG4、～2Mbps、320x240、30fps、Simple Profile、MP3 audio WMV : WMV9、～768kbps、320x240、30fps、Simple Profile、WMA audio
		TV OUTサポート(TV OUTケーブル別売)
	録音	WMA : 32～256kbps録音および再生
		音声録音、ラインイン録音、外部マイクサポート (ラインインケーブルコンバータ別売)
	写真	JPG
		ファイルサイズ、容量の制限なし
	テキスト	TXT file Viewer
		最大2MBまでサポート
	認識数	フォルダ3,000個およびファイル3,000個
ワンセグ	受信チャンネル：13～62ch	
ラジオサポート	FM ラジオ : 76Mhz～108Mhz、87.5Mhz～108Mhz	
	WMA : 32～256kbps録音サポート	
表示	2.5インチ1600万カラーTFT-LCD – QVGA (320x240)	
	タッチスクリーンサポート	
内蔵メモリ	2GB, 4GB, 8GB	
外部メモリ	SD/MMCカードスロット1個	
PCインターフェース	USB 2.0 High Speed	
ファイル転送速度	最大35Mbps (読み込み時最大40Mbps)	
電源	内蔵リチウムポリマー充電池	
再生時間	1SEG : 最大7時間30分連続 再生 動画 : 最大9時間連続再生 オーディオ : 最大45時間連続再生	
充電時間	ACアダプタ 約3.5時間、USB 約7時間	
ボタン	3 ボタン(MENU、VOL-、VOL+)、POWER & HOLD Switch	
SNR	95dB (A-Weighted)	
出力周波数	20Hz~20KHz	
出力	16 Ω イヤホン : 37mW + 37mW	
寸法	78 X 55.4 X 16.6 mm (幅x高さx奥行き)	
重量	91g (リチウムポリマー充電池を含む)	

-再生時間は当社のテスト環境を基準にしており、実際の使用時間は多少短くなる可能性があります。

2.工場出荷状態に初期化

COWON D2には基本設定に戻すことの他に工場出荷状態に初期化する機能があります。
初期化した場合、これまで設定した値は削除され、工場出荷時の設定値に変更されます。

1. 製品の電源を入れます。
2. モード選択画面で次のように操作します。



3. 初期化されると製品の電源を入れた時に、言語の設定画面が表示されます。

-製品が誤動作する時は、まず、USB端子脇にある［RESET］ボタンを押して製品を再スタートして下さい。その後も誤動作が継続して発生する場合は、工場出荷状態に初期化して下さい。

3.COWON MediaCenter - JetAudioによる動画ファイルの変換

1.COWON MediaCenter - JetAudioをインストールした後に実行します。



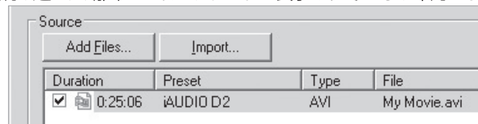
2.動画ファイルの変換を行うには上段の［Convert Video］をクリックします。



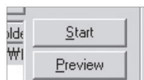
3.ビデオ変換画面が表示されたら［Add Files…］を選択して、変換したい動画ファイルを読み込みます。



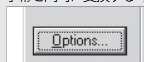
4.読み込んだ動画ファイルがリストに表示されているか確認します。



5.左下の[Target File]で保存先フォルダおよび「Output format」を確認した後、右側上段の［Start］を押すと変換が始まります。



- COWON MediaCenter - JetAudioを使用して変換を行っていない動画ファイルの場合、正常な再生を保証しません。
- 特別なソフトを使わずにパソコンで正常に再生される動画ファイルのみ変換することができます。
- すべてのファイルが正常に変換されるわけではありません。また変換されたとしても破損したファイルはCOWON D2で再生できないことがあります。
- パソコンの性能および変換元ファイルのサイズ、コーデックの種類により、変換時間に違いが生じます。
- ［Preview］をクリックするとファイルを保存せずに変換中の画面を確認することができます。
- 字幕を同時に変換する時や、設定の変更を行う時は［Options…］をクリックします。



- smiファイルは字幕ファイルです。必ず動画ファイルと同じファイル名にして下さい。

マニュアルを見ても分からない事がたくさんあります。
ホームページ(www.cowonjapan.com)で製品別FAQを提供していますので参考にして下さい。
ご不明な点はホームページ内のQ&Aを利用して、お問い合わせ頂ければ誠意をもって回答させていただきます。

電源が入りません。
バッテリーが完全に放電した場合はアダプタで充電した後電源を入れて下さい。放電状態により通常より長時間充電した後に製品に電源が入る場合があります。
製品の動作に異常が見られる場合は、USB端子の横にある［RESET]を押して下さい。参考までにRESETは電源を遮断する役割をするだけで保存されているデータには影響を与えません。

ボタンが作動しません。
電源スイッチが［HOLD］位置になっていないか確認して下さい。

何の音も聞こえません。
ボリュームが「0」になっていないか確認して下さい。
製品内に再生可能なファイルが保存されているか確認して下さい。製品の中に保存されているファイルがない場合は音が出ません。その他にも破損した音楽ファイルの場合、ノイズの発生や音が途切れることがあります。
イヤホンが奥まで接続されているか確認して下さい。イヤホン端子に異物がついている場合、ノイズが発生することがあります。

外部メモリ(SD/MMCカード)のファイルを再生すると再生時間が短くなります。
D2は外部メモリのファイルを再生する場合内蔵メモリのファイルに比べてリソースを多く使います。したがって、同じファイルであっても外部メモリに保存されているものを再生する場合は再生時間が多少減ることがあり、これは製品の異常ではありません。

音楽モードでアルバムイメージが表示されません。
アルバムイメージを表示するには音楽ファイルのID3タグにイメージが保存されていなければなりません。ID3タグの編集が可能なプログラム(jetAudio等のタグエディタ)を利用してイメージを保存してください。

動画を再生できません。
COWON MediaCenter - JetAudioで変換してからご使用下さい。COWON MediaCenter - JetAudioで変換されていない動画の場合、正常な動作を保証しません。

FMラジオが聞けません。
COWON D2はFMラジオのための専用アンテナはなく、接続したイヤホンを利用して電波を受信します。したがって、出来るだけイヤホンを長く伸ばして使用して下さい。
場所により電波の受信感度に違いがあります。ユーザーが確認可能なすべての場所でFMラジオが動作しなければ受信モジュールに問題があるかもしれませんので、この場合はサポートセンターへ点検を依頼して下さい。

録音したらノイズが聞こえます。
COWON D2は小型内蔵マイクを使用したモデルです。したがって録音時にノイズが入ることがあり、デジタル機器の特性上、録音された音が不鮮明な場合があります。

文字化けして表示されます。

［設定］-［画面］-［言語］　を再設定して、［設定］-［画面］-［タイトル］　を[ファイル名]で利用して下さい。 その後も同じ症状が出ましたら、追加説明にある【工場出荷状態に初期化】を参考にして製品を初期化した後に使用して下さい。
COWONはハングルWindowsを基準に開発された機器ですので、一部の特殊フォント/言語の文字が化けて表示されることがあります。

パソコンが製品を認識しません。

パソコンと接続しても電源が入らない場合、USB端子の横にある［RESET］ボタンを押して下さい。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバのインストール】を参考にして下さい。
接続が度々途切れて不安定な場合、製品をUSBハブ等を経由せずにパソコン本体背面のUSB端子に直接接続して下さい。COWON製品はUSB電源を使用するため、安定した電源が供給されないと接続エラーが起こる事があります。

JetShellで「iAUDIOが見つかりません」と表示されます。

パソコンに正常に接続されているか確認して下さい。パソコンが製品を認識できなければJetShellでも認識されません。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバのインストール】を参考にして下さい。
パソコンに接続した状態でWindows エクスプローラを実行し、正常に製品が認識されたのか確認した後にJetShellを使用して下さい。
JetShellの［設定］-［デバイスの選択］で製品モデル名が正しく選択されているか確認して下さい。

容量が少なく表示されます。

Windowsで表示される容量表記方法とメモリおよびハードディスク製造会社で表記する方法に違いがあることがあります。
製品ではシステム領域として使用される部分があります。したがって実際に表示される容量は、正常な動作に必要なシステム領域を除いた値となり、僅かですが少なくなります。

容量が一杯になると動作しません。

製品の中には設定ファイルの保存とシステム領域に使用する部分があります。したがって約5MB程度の空き容量を残して使用して下さい。

ジェットシェル(JetShell)とは?

ジェットシェル(JetShell)とは?

JetShellは以下の役割をするCOWON D2用のマネージャプログラムです。
• COWON D2へファイルを転送(Download/Upload)する機能
• Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
• MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生
• 転送リスト(Download List)による簡単なファイル転送
• 多様なスペクトラム、イコライザ、エフェクトサポート
• CDDB、ID3タグ（v1.1）編集機能
• COWON D2起動ロゴ転送機能
• フラッシュメモリフォーマット機能

JetShellのシステム要件
• Pentium 200 MHz以上
• メモリ 32MB以上
• 20MB以上のハードディスクの空き容量
• 256カラー以上のグラフィックカード
• Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTでは動作しません)
• USBポート 1.1以上(USB2.0推奨)
• CD-ROMドライブ
• サウンドカード、スピーカまたはヘッドホン

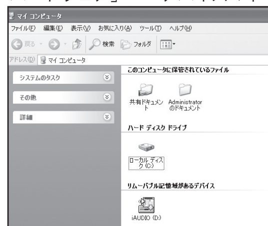
COWON D2の接続とJetShellのインストール

1. COWON D2のインストールCDをCD-ROMドライブに挿入すると、インストールプログラムが自動的に実行されます。
Windowsの設定によっては自動的に実行されない場合があります。その場合はC D-ROMの「/setup.exe」または「/JetShell/setup.exe」を実行してください。

2. インストールが完了すると、「スタート → プログラム → COWON → COWON D2 → JetShell」に登録されます。

3. COWON D2をパソコンに接続します。(接続前にJetShellを実行しないでください)
USBケーブルでCOWON D2のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。
(USBハブは使用しないでください。パソコン本体のUSBポートに直接接続することを推奨します。)

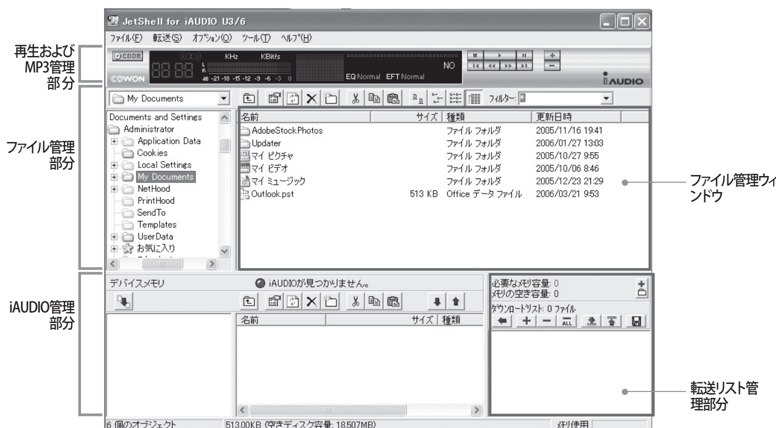
4.USBケーブルを選択すると、デバイスを検出し、COWON D2 USBドライバが自動的にインストールされます。Windowsの設定によってはドライバのインストール画面が表示されないことがあります。
インストールが完了すると、以下のように(XP Home Editionの場合)「マイコンピュータ」の中に「COWON D2」というドライブが表示されます。または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」→「ディスクドライブ」で確認できます。



5. 上記の過程が完了した後、JetShellやWindowsエクスプローラを使ってファイルを転送できます。

JetShellの構成

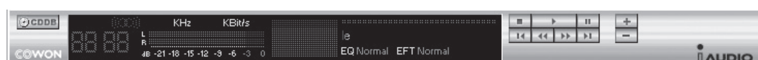
全体の姿



JetShellを実行すると、JetShellがiAUDIOドライブを制御するため、次の操作は必ずJetShellを終了してから行ってください。

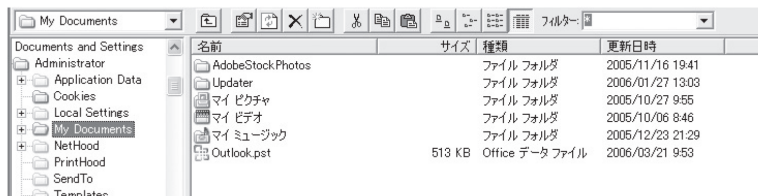
- USBドライブのインストール
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレード
- iAUDIOをＵＳＢから取り外す

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生



ファイル管理ウィンドウでMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストをダブルクリックするか、上図のプレーヤー部分にドラッグアンドドロップを行うとファイルの再生が始まります。また、複数のファイルを選択した後、再生ボタンを押すことで連続再生もできます。中央の黒色の画面に、再生中のファイルの進行状況および曲（ファイル）名、2種類のスペクトラムが表示されます。
右側にあるボタンで再生/停止/早送り/巻き戻し等のコントロール、「+」「-」ボタンでボリュームを調節できます。再生中のファイルの特定の位置へ移動するには曲(ファイル)名表示上部のポジションバーをクリックします。

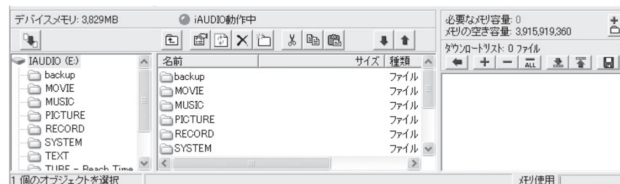
MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生



JetShellのファイル管理部分はWindowsエクスプローラとほぼ同じです。左のウィンドウはツリー構造でフォルダやハードディスク、CD-ROMドライブを表示します。右のウィンドウではドライブ（フォルダ）の中にあるファイルリストを表示します。

JetShellの構成

フラッシュメモリの管理



JetShellの下部はCOWON D2のメモリ(ハードディスク)内容表示部分と転送リスト管理部分から構成されています。
COWON D2が正常に認識されている場合は、図のように赤色の「COWON D2動作中 」というランプとメッセージが表示されます。ユーザがパソコンからCOWON D2へ転送したファイルは中央のウィンドウに表示されます。右下に見える「メモリ使用」 は、COWON D2の全メモリ(ハードディスク)のうち使用されている容量を棒グラフで表示しています。上の画面のような表示の場合は、COWON D2のメモリは殆ど使用されていません。

ボタン	機能	説明
	上へ	上位のフォルダへ移動します。
	プロパティ	指定したファイルのプロパティを表示します。
	最新の情報に更新	メモリ(ハードディスク)の内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダの作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルまたはフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取ったファイルまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	デバイスメモリにダウンロード	指定したファイルまたはフォルダをコパソコンからCOWON D2へ転送します。
	コンピュータにアップロード	指定したファイルまたはフォルダをCOWON D2からパソコンへ転送します。

JetShellは音楽を視覚的に表すスペクトラムを表示できます。スペクトラムが表示されている部分をクリックすると、以下のように画面が変わります。



また、[EQ]、[EFT]の部分をクリックすると、イコライザとエフェクトを変更して更に音楽を楽しむことができます。
(右クリックすると一覧が表示されます)



多様なEQ

多様なEffect

MP3ファイルのCOWON D2への転送

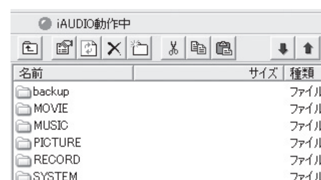
MP3ファイルのCOWON D2への転送

1. 音楽ファイルのCOWON　D2への転送は非常に簡単です。ファイル管理部分で転送したいファイルを選択した後、下向きの矢印ボタンを押すとCOWON　D2に転送されます。

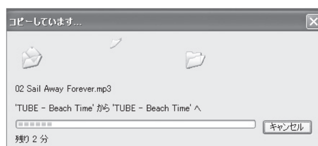


特定のフォルダへ転送したい場合は、予めCOWON　D2管理部分で転送先のフォルダを選択しておきます。

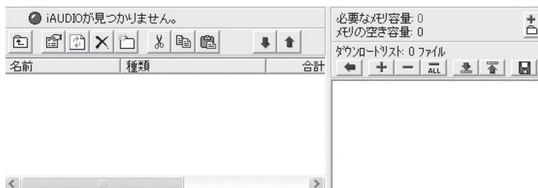
2. または、Windowsエクスプローラと同じく、ファイル管理部分でファイルを選択した後、下のAUDIO管理部分へドラッグアンドドロップすることでも転送できます。



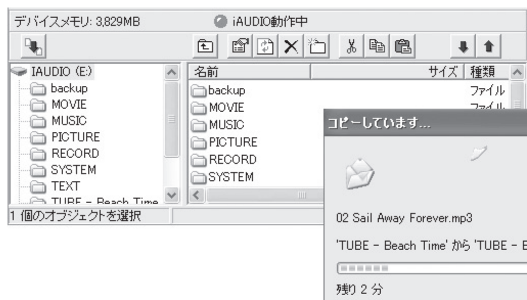
3.ファイル転送中の画面です。転送中には絶対USBケーブルを取り外さないでください。



4. または、下図のように転送リスト管理ウィンドウに前もって登録した後転送する方法もあります。
それぞれ違うフォルダにある複数のファイルを「+」ボタンで登録した後、「←」ボタンで一度に転送できます。



5. JetShell以外のウインドウに表示されているファイルをマウスでドラッグし、COWON D2管理ウィンドウにドロップしても転送できます。



DIGITAL PRIDE.

COWON